

# ぎふエコビジョン 2030

～脱炭素社会ぎふの実現を目指して～

## 第6次 岐阜県環境基本計画

概要版



# ぎふエコビジョン 2030

## 達成目標

基本施策	指標名	現状	目標
「脱炭素社会ぎふ」の実現と気候変動への適応	温室効果ガスの排出量	1,685万t-CO <sub>2</sub> (2017)	1,474万t-CO <sub>2</sub>
	家庭1世帯あたりエネルギー消費量の削減率	— (2019)	2017比 9.7%減
	再生可能エネルギー比率	6.5% (2017)	7.8%
	立地適正化計画策定市町村数(累計)	5市町村 (2019)	10市町村
資源循環型社会の形成	一般廃棄物排出量	69.6万t (2018)	60.8万t
	一般廃棄物再生利用率	23.3% (2018)	28.0%
	産業廃棄物排出量	367.7万t (2018)	367.7万t
	産業廃棄物再生利用率	40.7% (2018)	56.0%
美しく豊かな環境との共生	地域循環共生圏プラットフォーム登録団体数(累計)	2団体 (2019)	20団体
	自然公園利用者数	793万人 (2018)	800万人
	新規林業就業者数(累計)	249人 (2019)	400人
	農地維持活動に集落で取り組む協定面積	28,918ha (2019)	28,900ha
安全・安心な生活環境の確保	河川環境基準達成率 ※BOD75%値	98.6% (2019)	100%
	大気環境基準達成率 ※光化学オキシダント除く	100% (2019)	100%
未来につながるづくりとライフスタイルの変容	環境学習用のポータルサイト(R3年度内公開予定)閲覧回数	— (2019)	20万回
	「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数	— (2019)	700会員
	副読本等を活用し環境問題を探究した小学校の割合	97.1% (2019)	100%



### 岐阜県環境基本計画

トップページ > 分類でさがす > くらし・防災・環境 > 環境 > 法令・計画等 > 第6次岐阜県環境基本計画  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/page/130209.html>

お問い合わせ先 岐阜県環境生活部環境企画課 電話058-272-1111(代表) 〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1

岐阜県環境基本計画





# GIFU ECO VISION 2030

2050年までに県内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「脱炭素社会ぎふ」の実現という大きな目標を掲げた上で、SDGsの目標年次でもある2030年において、県が目指すべき将来像を「ぎふエコビジョン2030」として描きました。

## 第6次 岐阜県環境基本計画

### 計画の目的

この計画は、「岐阜県環境基本条例」に基づき、豊かで快適な環境の保全及び創出に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定めるものです。

計画の期間：令和3年度～令和7年度  
(2021年度～2025年度)

### 計画の方向性 ~令和7(2025)年度~

自然と人が共生する  
持続可能な「清流の国ぎふ」の実現



### 取組方針

- 環境・経済・社会の好循環により魅力と活力を生み出す地域づくり
- 「清流の国ぎふ」に誇りと愛着を持ち、未来につなぐ人づくり



1 「脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、地球温暖化に対する緩和策と適応策が着実に進展し、気候変動の影響が最小化されています

2 3R(ごみ発生抑制・再利用・再利用)の意識が浸透し、資源循環型社会が形成されています

3 豊かな自然環境が保全されるとともに、持続的に活用されています

4 県民すべてが安全・安心で健康的な生活が送れる環境が確保されています

5 県民一人ひとりや各事業者に環境にやさしいライフスタイルやビジネスマインドが根付いています



### 基本施策

## 1

## 「脱炭素社会ぎふ」の実現と 気候変動への適応

### 1) 温暖化対策の推進

- 事業者の温室効果ガス排出削減・省エネルギーの推進
- ZEH・ZEBの普及促進
- 公共交通の利用と次世代自動車の導入の促進
- 環境・エネルギー分野への技術開発の促進
- 地域環境投資・金融の拡大検討
- 「ぎふ清流 COOL CHOICE」の推進
- 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・利用の促進
- 県による率先実行

### 2) 気候変動への適応

- 気候変動の影響や適応に関する共同研究と人材育成
- 「気候変動×防災」の推進による強靱な県土づくり
- 激甚化・頻発化・局所化する気象災害への対策
- 水資源の保全とライフラインの強化
- 農産物・養殖魚の新品種・種苗の育成・選定
- 自然生態系の保全
- 熱中症、感染症の予防
- 事業継続計画（BCP）の策定支援

### 主な指標

指標名	現状	目標
温室効果ガスの排出量	1,685万t-CO <sub>2</sub> (2017)	1,474万t-CO <sub>2</sub>
家庭1世帯あたりエネルギー消費量の削減率	- (2019)	2017比 9.7%減
再生可能エネルギー比率※	6.5%(2017)	7.8%
ぎふ清流 COOL CHOICE 賛同者数	25,024人(2019)	4万人

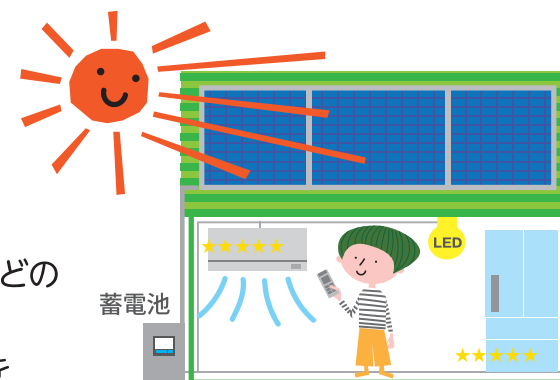
※最終エネルギー消費量に対する再生可能エネルギー創出量の割合



### 期待する取組 取り組むことにチェックしましょう

#### 県民

- 省エネ家電を選択しましょう
- 再生可能エネルギーを活用した電力を利用しましょう
- 公共交通機関を利用しましょう
- エコドライブを心掛けましょう
- 新築など住宅取得の際には、ZEHなどの省エネ住宅を選択しましょう
- 車を購入する際には、次世代自動車を選択しましょう
- 災害に備え、食料や飲料水の備蓄、非常持出品の準備、避難所や避難経路の確認等を行いましょ



#### 事業者

- 事業活動による温室効果ガス排出量を把握し、削減に努めましょう
- 自然災害などの緊急事態に備え、事業継続計画（BCP）を策定しましょう

### 基本施策

## 2

## 資源循環型社会の形成

### 1) 廃棄物の発生抑制及び再資源化の促進

- プラスチックごみ削減の推進
- プラスチックを含む海洋ごみ対策の推進
- 食品廃棄物対策の推進
- ごみ減量化・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 一般廃棄物の適正処理の推進
- 産業廃棄物の適正処理の推進

### 2) 不適正処理対策の徹底

- 不法投棄等対策の徹底
- 岐阜県埋立て等の規制に関する条例的的確な運用

### 3) 災害廃棄物・感染症への備え

- 災害廃棄物処理対策の推進
- 感染症対策の推進

### 主な指標

指標名	現状	目標
一般廃棄物排出量	69.6万t(2018)	60.8万t
一般廃棄物再生利用率	23.3%(16.2万t)(2018)	28.0%(17.0万t)
1人1日当たり生活系ごみ排出量	679g/人/日(2018)	629g/人/日
事業者当たりのごみ削減率	- (2019)	2018比 5%減



### 期待する取組 取り組むことにチェックしましょう

#### 県民

- ごみの分別ルールを守りましょう
- 買いすぎ・作りすぎ・注文しすぎを控え、残さず食べきることで食品ロスを減らしましょう
- 詰め替え製品やリサイクル製品を利用しましょう
- モノを長く大事に使いましょう
- 使い捨てプラスチック製品の購入・使用を控えましょう



#### 事業者

- 環境にやさしい製品やサービスを提供・利用しましょう
- 排出される廃棄物の減量化及び循環利用に努めましょう

# 期待する取組

私たちは何をすればいいの？

基本施策

3

## 美しく豊かな環境との共生

### 1) 地域循環共生圏の創出支援

- 地域循環共生圏の取組の推進

### 2) 自然環境の保全及び活用

- 環境影響評価制度の的確な運用
- 自然と共生した川づくり
- 自然公園の保全及び活用
- 自然とふれあう機会の充実・サステイナブル・ツーリズムの推進
- 長良川システムの保全・活用・継承
- 持続可能な農業の推進
- 棚田を核とした地域振興
- 林業の担い手確保

### 3) 生物多様性の保全

- 生物多様性ぎふ戦略の推進
- 農地・里地里山の保全
- 外来生物の防除
- 環境保全林の整備
- 希少野生生物の保護
- 野生鳥獣による被害防止

#### 主な指標

指標名	現状	目標
「清流長良川あゆパーク」における体験プログラム参加者数(累計)	47,025人(2019)	10万人
自然公園利用者数	793万人(2018)	800万人
生物多様性に関する講習等参加者数	137人(2019)	300人
狩猟免許保持者数	4,980人(2019)	5,500人



## 期待する取組 取り組むことにチェックしましょう

県民

- ペットの野外への放出や外来魚の放流を行わないようにしましょう
- 環境保全活動に積極的に参加しましょう
- 自然とふれあいましょう

事業者

- 開発の際は野生動植物の生息環境に配慮しましょう
- 適切な間伐の実施など、森林の適正管理に努めましょう



基本施策

4

## 安全・安心な生活環境の確保

### 1) 水及び土壌の汚染防止

- 水環境の保全
- 水源のかん養
- 土壌汚染の防止
- 地盤沈下の防止
- 危機管理体制の強化

### 2) 大気環境の保全

- 大気汚染の防止
- 騒音・振動・悪臭の防止

#### 主な指標

指標名	現状	目標
河川環境基準達成率 ※1	98.6%(2019)	100%
汚水処理人口普及率	92.9%(2019)	95%
大気環境基準達成率 ※2	100%(2019)	100%
騒音の環境基準達成率	94.7%(2018)	100%

※1 BOD75%値  
※2 光化学オキシダント除く



## 期待する取組 取り組むことにチェックしましょう

県民

- 日常生活における騒音・振動・悪臭の発生防止に努めましょう
- 下水道への加入など家庭から出る生活排水の浄化に努めましょう

事業者

- 油や有害物質の流出事故防止に努めましょう
- 大気汚染物質の削減や騒音・振動・悪臭の発生防止に努めましょう



基本施策

5

## 未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容

### 1) 多様な主体間の連携による人づくり

- 環境学習支援の機能強化
- 各主体間の連携強化
- 次代の環境活動を担う人材の育成
- SDGsに関する普及啓発活動の推進
- 体験を重視した環境教育の充実

### 2) 環境にやさしいライフスタイルやビジネスマインドへの変容

- 知識を実践に変える県民運動の展開
- 新しいライフスタイルへの移行促進

#### 主な指標

指標名	現状	目標
環境学習用のポータルサイト (R3年度内公開予定) 閲覧回数	— (2019)	20万回
「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数	— (2019)	700会員
副読本等を活用し環境問題を探究した小学校の割合	97.1%(2019)	100%
環境にやさしい行動に取り組んだ人の割合 20代	94.1%(2019)	100%



## 期待する取組 取り組むことにチェックしましょう

県民

- 環境問題を自身の問題と捉え、日々の暮らしや仕事を見直し、環境にやさしいライフスタイルへの転換を図りましょう
- 環境保全活動や環境学習の場に積極的に参加しましょう

事業者

- サプライチェーン全体を環境にやさしい持続可能なものにしましょう
- 実践している環境にやさしい取組を情報発信しましょう
- テレワークやワーケーションなど、新しいライフスタイルを実践しましょう

